



新築[簡易版]

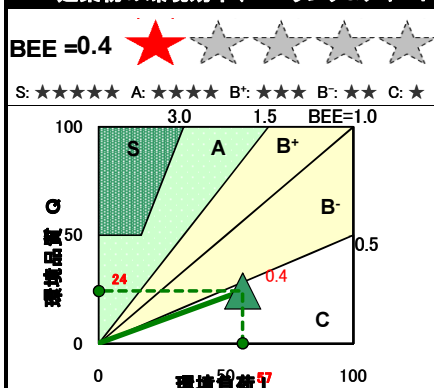
評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2008年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2008(v.3.1)

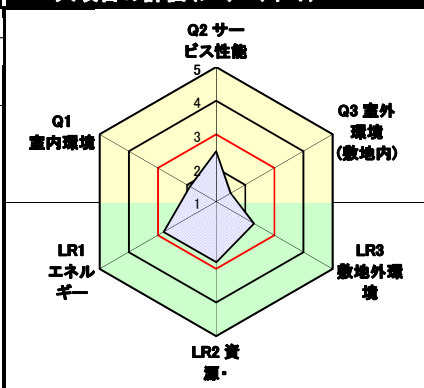
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ホンダパーツ関西西京都南営業所	階数	地上3F
建設地	京都市伏見区竹田中川原町84-1他	構造	S造
用途地域	第二種住居地域、準防火地域	平均居住人員	8人
気候区分	地域区分V	年間使用時間	2,000時間/年
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2010年1月 予定	評価の実施日	2008年7月16日
敷地面積	1,577 m ²	作成者	河井
建築面積	848 m ²	確認日	
延床面積	2,228 m ²	確認者	



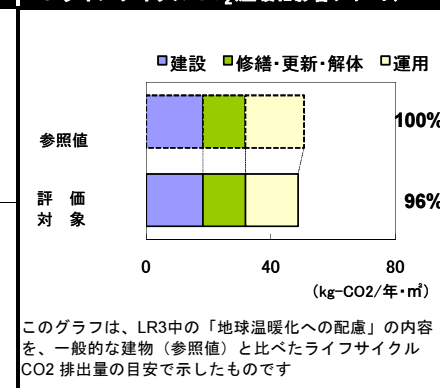
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



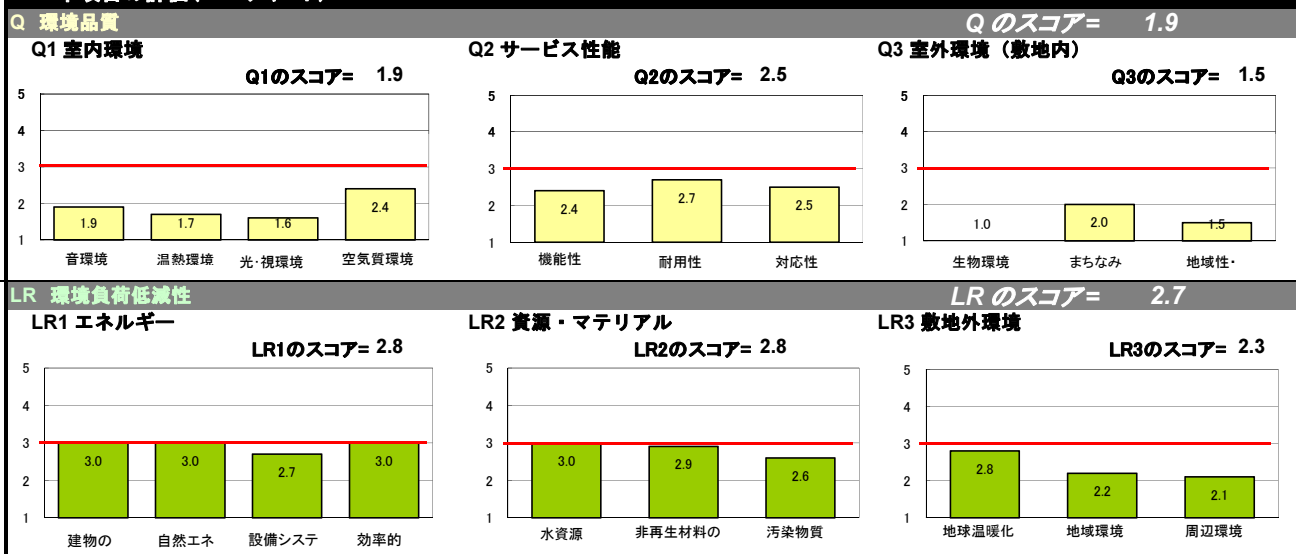
2-2 大項目の評価(レーダーチャート)



2-3 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



2-4 中項目の評価(バーチャート)



3 設計上の配慮事項

総合		その他
注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。十分な収納スペースの確保を最優先に付属する諸室のレイアウト、動線に重点を置いた設計。		注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。倉庫部分の設備は必要最小限のものとし、事務室、休憩室等従業員用のスペースも建築基準法の各規定をクリアした上	注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。事務室はレイアウト変更に対応できるよう十分なスペースを確保しOAフロアを採用。	注) 「Q3 室外環境 (敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。京都府地球温暖化対策条例の基準を遵守。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。特になし。	注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。特になし。	注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。特になし。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと

■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される